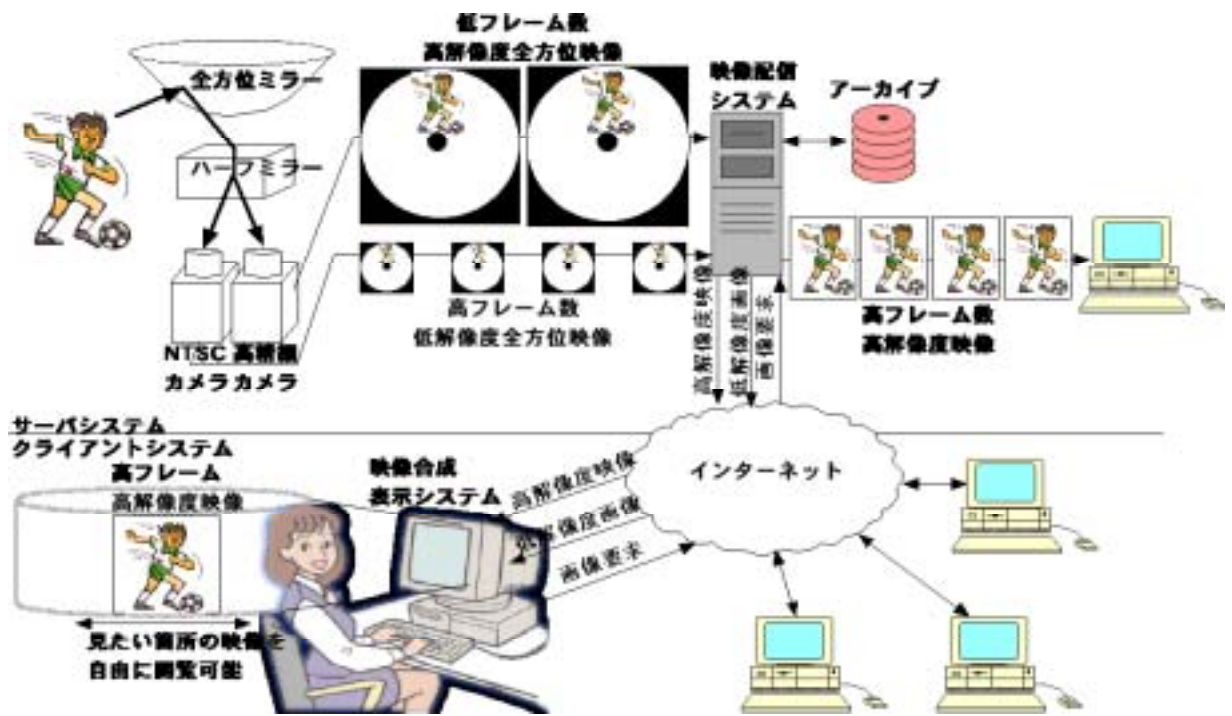


全方位高解像リアルタイム動画入力とその配信システムに関する研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成15年度採択案件

| | |
|--------|---|
| 受託者 | (株)映蔵 |
| 研究開発期間 | H15年9月～H19年3月(3年7ヶ月) |
| 研究代表者 | 田中紘幸 (株)映蔵 代表取締役社長 |
| 概要 | <p>周囲360°のシームレスな動画像がリアルタイムで撮影できる全方位カメラは、セキュリティ、ビジネス、エンターテインメント等、広い応用分野を持っているが、一般のカメラと比べて、ある部分に着目したときに空間分解能が劣るといふ欠点をもつ。この欠点を克服するため、高解像度だが時間的には粗い画像と、通常の解像度だが時間的に密な画像を同一視野で同時に撮影できる全方位カメラを開発するとともに、これら2つの全方位素材映像から空間的に高解像度でしかも時間的にも密な全方位動画像を作成する技術を開発し、この2つの素材映像のサーバからの配信・ユーザ側での再生利用技術について研究開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・本研究開発により、全方位(究極の広視野)高解像度リアルタイム動画像の入力と配信が可能となり、ブロードバンド化の急速な伸びによる高品質(広視野、高精細、高速)な映像配信への急速な需要拡大に対応できる。・単なる画像通信だけにとどまらず、セキュリティー(遠隔監視等)、ビジネス(遠隔会議等)、教育(遠隔地教育、電子図書等)、医療(遠隔地診断等)、エンタテインメント(インタラクティブドラマ等)など、社会生活の隅々まで、その波及効果が期待できる。 <p>【サブテーマ】 複合センサカメラの試作 リアルタイム高解像度動画像の作成 高解像度全方位カメラ用光学系の設計 高解像度動画配信用ソフトウェアの開発 ライブ入力、配信システムの開発</p> |



高解像度動画配信システム